



「けなるい(うらやましい)町徳光」を目指して美化活動を展開

平地農業地域

とくみつちょう

ふくいし

徳光町集落資源保全隊（福井県福井市）

- 当地区では、混住化の進展等により、農業者のみで地域資源を継続的に守っていくことが困難となってきた。
- 自治体と一体となり、景観保全のための植栽活動やゴミ対策の徹底、地区内美化運動等の共同活動を通じた集落機能の活性化を目指している。
- 「けなるい町徳光」をキャッチフレーズに、「美しい環境をどのように守っていくか」という課題について、集落内で話し合い、身近な活動から始めることにした。地域内美化運動の一環として、地域住民が集落内水路に竹プランターによる植栽活動を実施。さらに、水路法面のカバープランツとしてシバザクラを植栽する活動へと発展。

【地区概要】

- ・取組面積 72ha（田72ha）
- ・資源量 開水路22.2km、農道7.4km
- ・主な構成員
農業者、自治会、農家組合、子供会、水土里ネット、親水施設整備事業委員会
- ・交付金 約6百万円(H29)

〔 農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化) 〕

地域ぐるみの資源保全活動



幹線水路の草刈

幹線水路の清掃



地域内美化運動



身近な活動からの取組

— 手作り竹プランターの植栽 —



地区内の竹林から達した竹でプランターを制作し水路に設置する活動

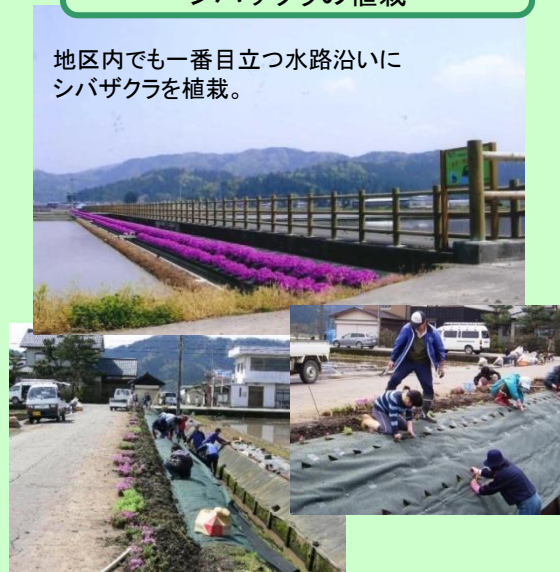


活動を続けて5年目には、地区内のプランターは55個から95個に増加。住宅近辺の活動ということもあり、農家・非農家が一体となり取り組んでいる。

活動の取組拡大に向けて

— シバザクラの植栽 —

地区内でも一番目立つ水路沿いにシバザクラを植栽。



- ・ 景観形成に加え畦の草刈り作業の省力化にもつながることから、専門家からの助言も受け、防草シートを併用したシバザクラの植栽を実施。
- ・ 防草シートの選定に当たっては、各地をまわり、スギナやチガヤに対する耐久性のあるシートを選定。
- ・ 「けなるい(うらやましい)町徳光」をキャッチフレーズに、取組拡大に向けて活動を実施している。